

第 211 回評議員会 議事録

- 1 日 時 令和 7 年 3 月 24 日（月）14：00～15：30
- 2 場 所 京都テルサ
- 3 出席者 別表のとおり 評議員：30 名のうち出席者 19 名
- 4 議 題 報告 （1）第 6 次中期計画について
（2）事業の実施状況及び組織の活動状況について
議案 第 1 号議案 令和 6 年一般会計及び生活福祉資金会計〔4 件〕第
一次補正予算（案）に関する件
第 2 号議案 令和 7 年度事業計画（案）に関する件
第 3 号議案 令和 7 年度一般会計及び生活福祉資金会計〔4 件〕
当初予算（案）に関する件
- 5 議事録の作成に係る職務を行った者 総務部総務課主事
- 6 内容

出席者を確認し、評議員 19 名の出席で評議員会は有効に成立していること、役員として正副会長、常務理事、監事が出席している旨を事務局から報告。小畑会長の開会あいさつの後、互選により評議員を議長に選出。議長が議事録署名人 2 名を提案し承認。

（1）報告

- ① 第 6 次中期計画について
→質問等はなし。
- ② 事業の実施状況及び組織の活動状況について
→質問等はなし。

（2）議題

第 1 号議案 令和 6 年一般会計及び生活福祉資金会計〔4 件〕第一次補正予算（案）
に関する件
→質問等はなく、全員の同意により承認。

第 2 号議案 令和 7 年度事業計画（案）に関する件

- ・出席評議員から、国が考えている災害対策（個別避難計画）について、市町村と市町村社協、府社協の 3 者で連携する予定はあるか質問あり。
- ・事務局長より、京都府の地域福祉支援計画でも個別避難計画について定められており、京都府と相談して出来ることを考えていく旨を回答。

- ・ 常務理事より、個人情報保護の問題があるが、要配慮者の情報を市町村と市町村社協、民生委員等と共有することが大切だと考えている旨を追加で回答。
- ・ 出席評議員から、介護・福祉サポートセンターについて、施設で生産性向上の取り組みを行う中で、業務改善の機能が弱く実際に機器を導入しても使えていないという課題がある。具体的な伴走支援について詳しい説明を求められた。
- ・ 所長より、生産性向上は職員に意義を理解してもらうことが重要であること、相談窓口や専門家の設置、派遣については相談内容に応じて専門家と調整し実施すること、予算の都合もあるが1回で終わることではなく一定期間行いたい旨を回答。
- ・ 常務理事より、福祉サービスの質の向上と働きやすい環境をつくる業務改善を図ることが主な目的であり、府社協も仕事の仕方の見直しやIT導入による改善を進めていること、また福祉施設と府内の中小企業の連携により、福祉機器や業務改善機器の開発を検討していることを回答。

第3号議案

→質問等はなく、全員の同意により承認。

副会長の閉会あいさつの後、閉会。